



2025 年 4 月 15 日

各 位

会社名 株式会社トリプルアイズ
代表者名 代表取締役 山田 雄一郎
(コード番号：5026 東証グロース)
問合わせ先 執行役員 近藤 一寛
(TEL. 03-3526-2201)

(訂正) 「2025 年 8 月期 第 2 四半期決算説明資料」の一部訂正について

2025 年 4 月 14 日に開示いたしました、「2025 年 8 月期 第 2 四半期決算説明資料」について、
記載の一部に訂正すべき事項がございましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

「2025 年 8 月期 第 2 四半期決算説明資料」に関して、記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、下記のとおり訂正するものであります。

2. 訂正内容

7 ページ「連結前年同期比較」

訂正箇所を下線を付して表示しています。

(訂正前)

決算サマリー③	連結前年同期比較	7
<売上高> 売上高は前年同期比135.8%となり、エンジニアリングの好調と連結取り込みにより、大きく伸長 →AIソリューション事業の「AIインテグレーション」サブセグメントでは、生成AI関連案件の需要増により、引き続き受注が拡大（AIラボ案件事例頁参照）。AI請負案件も増加中。 →AIソリューション事業の「AIプロダクト」サブセグメントでは、「アルろく for LINEWORKS」については、国内最大手ディストリビューターと販売提携し、またアプリディレクトリ登録が完了し、マーケティングが加速 →AIソリューション事業の「エンジニアリング」サブセグメントでは、BEXがトヨタグループを中心とした取引が安定的に推移し、4月以降で派遣人員単価10%超アップを見込むが、人員減もあり、同程度で推移予定 <売上総利益/営業利益/経常利益/EBITDA> 売上総利益は前年同期比132.5%、営業利益は前期と同程度の赤字計上、EBITDAは前年同期比178.4%、経常利益は前年同期比248.3%に成長 →「AIインテグレーション」における単価上昇、AIラボ契約拡大などが利益に寄与 →「エンジニアリング」においては高稼働率を維持し、利益計上を継続。4月以降派遣人員単価10%超アップを見込むが、臨時賞与32Mを支給予定で、下期利益が上期と比較して下落予定 →販管費は、2Qでは本社移転の影響がほぼなくなり、対1Q比較で約18M改善 →GPUサーバー事業の2Qは節税ニーズの需要拡大により、受注は拡大したものの売上計上は3月での計上が多く、3月売上計上は保守売上も含めて239Mの見込みとなり、2Q営業損益は赤字で着地。また、<u>暗号資産相場の変動により、暗号資産評価益が31Mに減少したが、保険解約返戻金56Mを計上したため、経常利益は黒字をキープ。3月単月としては、103Mの営業利益の計上を見込む。</u>		
Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved		

(訂正後)

決算サマリー③	連結前年同期比較	7
<売上高> 売上高は前年同期比135.8%となり、エンジニアリングの好調と連結取り込みにより、大きく伸長 →AIソリューション事業の「AIインテグレーション」サブセグメントでは、生成AI関連案件の需要増により、引き続き受注が拡大（AIラボ案件事例頁参照）。AI請負案件も増加中。 →AIソリューション事業の「AIプロダクト」サブセグメントでは、「アルろく for LINEWORKS」については、国内最大手ディストリビューターと販売提携し、またアプリディレクトリ登録が完了し、マーケティングが加速 →AIソリューション事業の「エンジニアリング」サブセグメントでは、BEXがトヨタグループを中心とした取引が安定的に推移し、4月以降で派遣人員単価10%超アップを見込むが、人員減もあり、同程度で推移予定 <売上総利益/営業利益/経常利益/EBITDA> 売上総利益は前年同期比132.5%、営業利益は前期と同程度の赤字計上、EBITDAは前年同期比178.4%、経常利益は前年同期比248.3%に成長 →「AIインテグレーション」における単価上昇、AIラボ契約拡大などが利益に寄与 →「エンジニアリング」においては高稼働率を維持し、利益計上を継続。4月以降派遣人員単価10%超アップを見込むが、臨時賞与32Mを支給予定で、下期利益が上期と比較して下落予定 →販管費は、2Qでは本社移転の影響がほぼなくなり、対1Q比較で約18M改善 →GPUサーバー事業の2Qは節税ニーズの需要拡大により、受注は拡大したものの売上計上は3月での計上が多く、3月売上計上は保守売上も含めて239Mの見込みとなり、2Q営業損益は赤字で着地。また、<u>保険解約返戻金56Mを計上したが、暗号資産相場の変動により、暗号資産評価益が31Mに減少したこと等により、2Q経常利益は赤字で着地。3月単月としては、103Mの営業利益の計上を見込む。</u>		
Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved		